

復興道路 三陸沿岸道路

よしはま

吉浜道路が11月29日(日)に開通します。

～橋梁とトンネルで難所解消、地域の活性化に寄与～

国土交通省が事業を進めてきました、三陸沿岸道路の一部を構成する「吉浜道路」(三陸IC～吉浜IC)が、平成27年11月29日(日)に開通します。

今回の開通により、現国道45号の羅生峠越え区間の急カーブや急勾配区間を回避することで、重大事故の削減、救急医療支援、東日本大震災被災地域の早期復興に寄与することなどが期待されます。

○今回の開通による主な整備効果(別紙-2)

効果1:線形不良、急勾配の解消により^{*}重大事故を削減

効果2:救急医療を支援し、暮らしの安全を確保

効果3:海産物の鮮度保持・品質向上、地域産業の復興を支援 他

※重大事故:死者又は重傷者を生じたもの

1. 開通区間(別紙-1、3)

おおふなとしさんりくちょうおきらい おおふなとしさんりくちょうよしはま
大船渡市三陸町越喜来 ～ 大船渡市三陸町吉浜

さんりく よしはま
三陸IC～吉浜IC (延長 3.6km)

2. 開通日時 平成27年11月29日(日) 15:00から一般開放予定

※ 今回開通する区間は、県内の既開通区間と同様に無料となります。

※ 自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、二輪車(125cc以下)は通行できません。

※ IC名称については、H27.7.31開催の「岩手県道路交通環境安全推進連絡会議」にて決定しました。

※ 開通式典等の詳細については、後日あらためて発表します。

【発表記者会】岩手県政記者クラブ、大船渡記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶉住居町第13地割1-4 (代表) 電話: 0193-28-4731

副所長(技術) やまぐち 山口 みつる 満 (内線204)

工務課長 たぐち 田口 ひでみ 秀美 (内線411)

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisannriku/index.html>

岩手県内 復興道路・復興支援道路 (吉浜道路位置図)

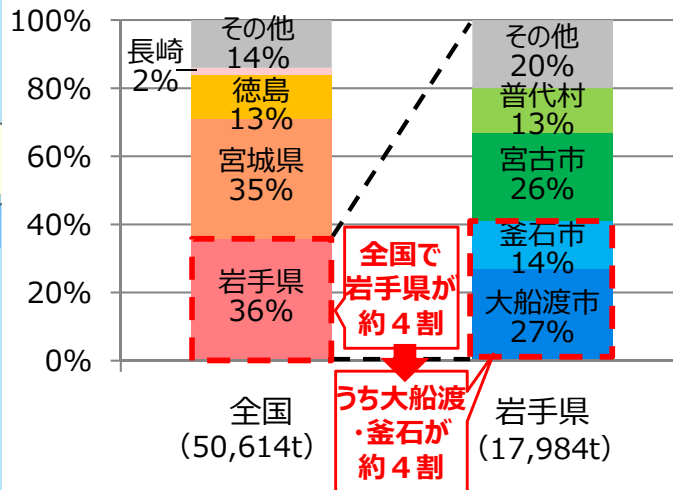


海産物の鮮度保持・品質向上、地域産業の復興を支援

- ◆ 全国の4割を占める岩手県内のわかめ収穫量のうち、約4割が大船渡市や釜石市で収穫
- ◆ 釜石市方面から大船渡市等の加工場までの輸送時間短縮により、海産物の鮮度保持・品質向上、地域産業の復興を支援

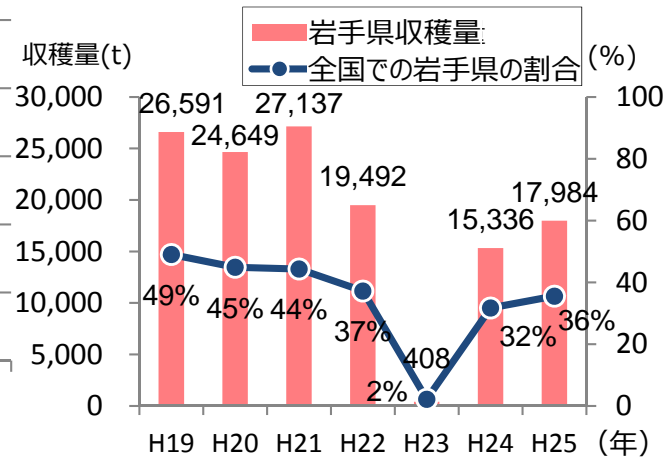


▼わかめ類収穫量 (H25年)



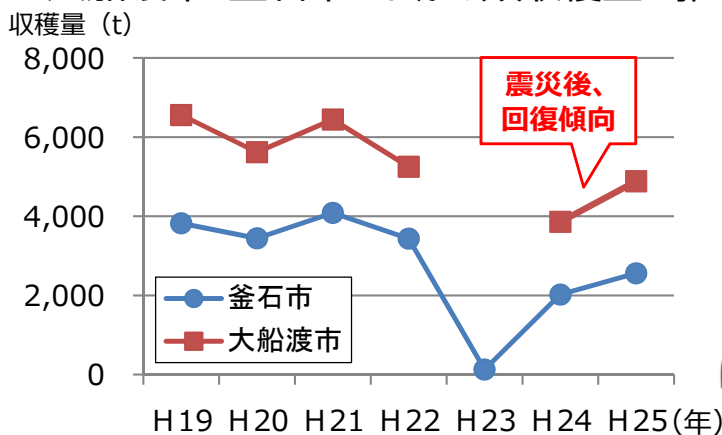
資料：H25海面漁業生産統計調査（農林水産省）

▼岩手県のわかめ収穫量の推移



資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省）

▼大船渡市・釜石市のわかめ類収穫量の推移



資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省）
 ※H23の大船渡市の統計値は未集計

- ・「生わかめ」は鮮度が落ちないうちに運搬する必要がある。
- ・冬期の現道でスタック車両が発生し、輸送トラックの到着が遅れ、出荷が遅れることがあった。
- ・開通後は、急カーブ急勾配が解消されるため、鮮度保持・品質確保につながり、取引加工場・業者が多い大船渡、陸前高田、気仙沼、石巻からも喜ばれるだろう。

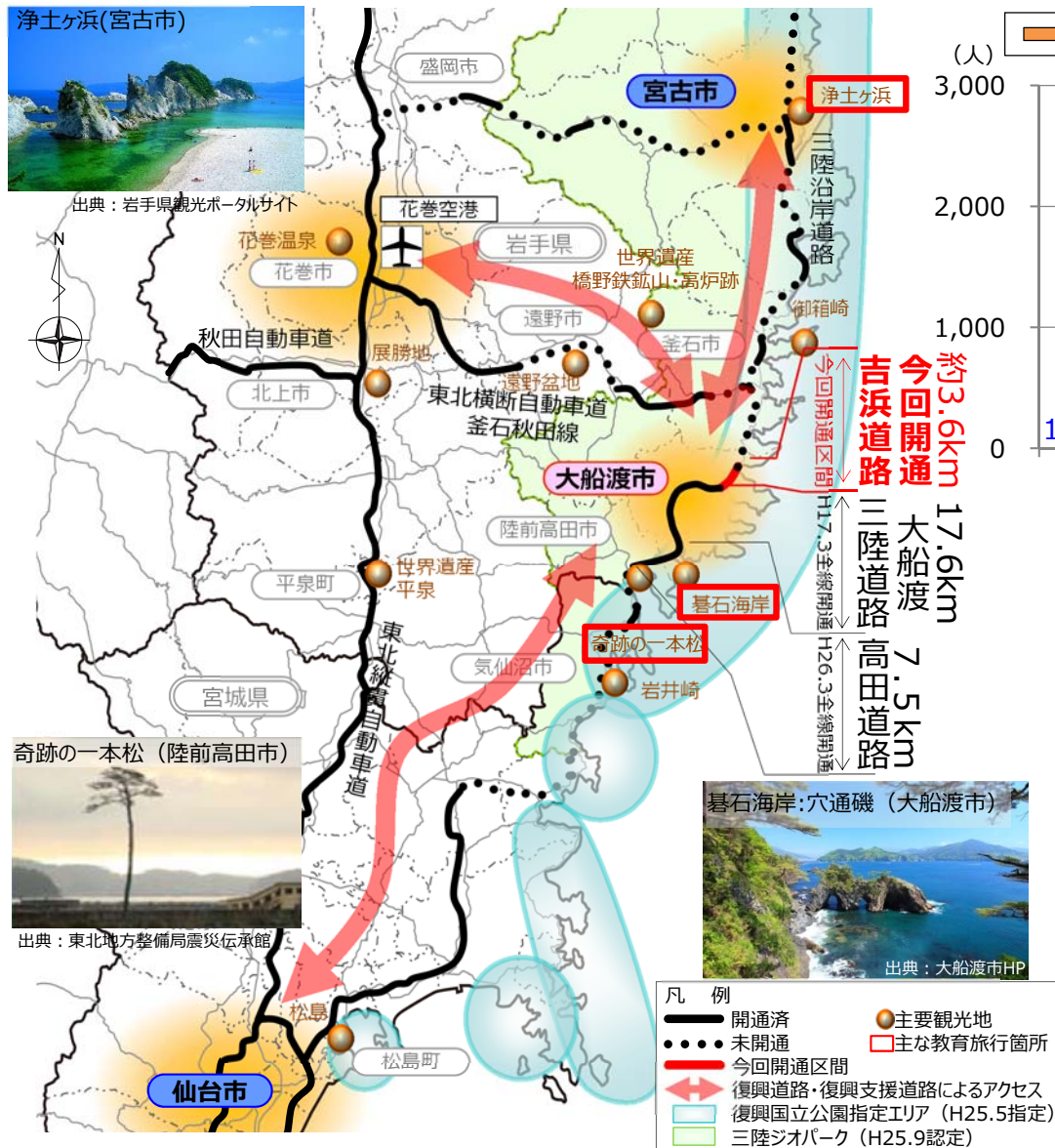
※H27.7 唐丹、吉浜漁協ヒアリング結果



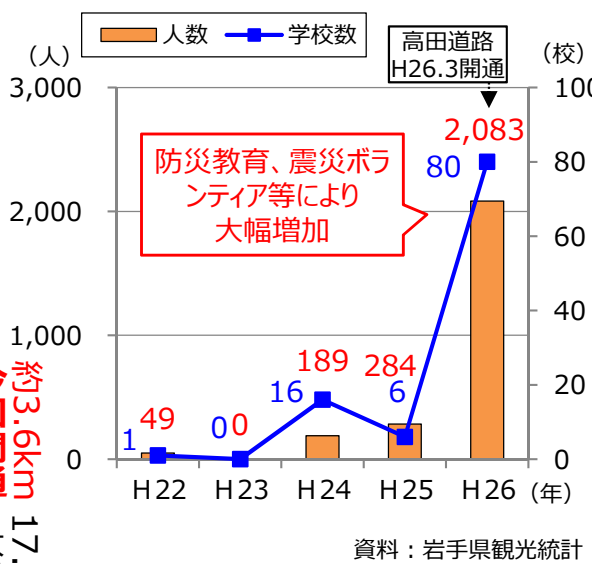
アクセス向上により、観光産業の復興を支援

- ◆ 震災後、三陸沿岸道路による交通アクセス改善とともに、復興国立公園の指定、震災学習等の取組みより、観光入込客数は回復傾向
- ◆ 今後、三陸沿岸道路等の開通に伴い、さらなる観光入込客数の増加が期待

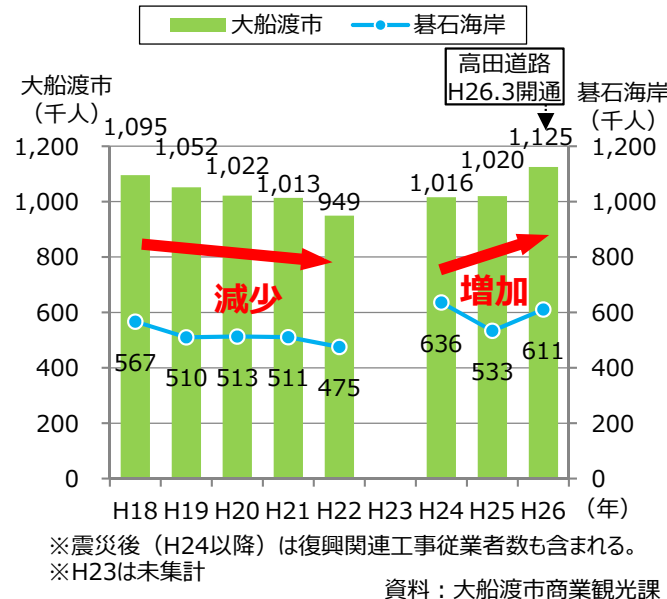
▼ 大船渡市周辺の広域観光ルート



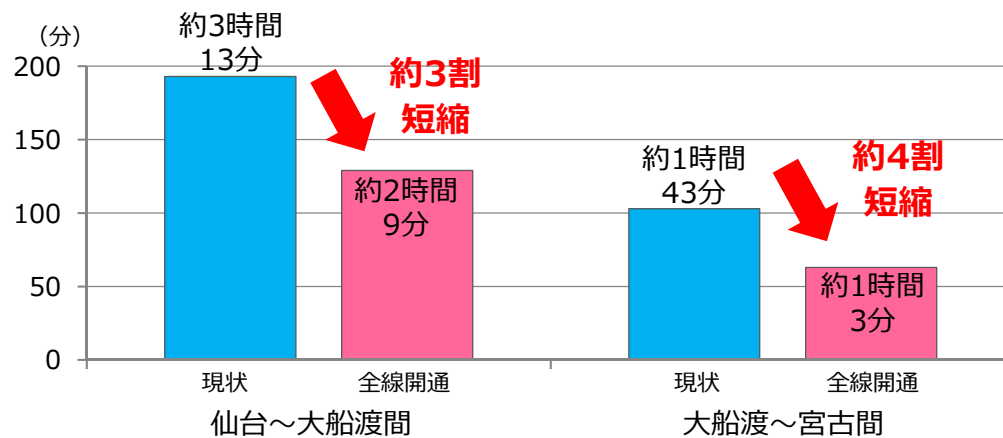
▼ 教育旅行の受入数 (大船渡市)



▼ 碓石海岸と大船渡市の観光入込客数の推移



▼ 所要時間の推移(仙台～大船渡～宮古)



緊急輸送道路の信頼性確保

- ◆ 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路で通行止が発生
- ◆ 国道45号が通行止の場合の迂回時間は約74分、三陸沿岸道路開通時は約43分と開通により迂回時間は約4割短縮
- ◆ 吉浜道路を含めた三陸沿岸道路は、大規模震災時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成



▼写真①（釜石市平田地区）



▼写真②（釜石市唐丹地区）



